

■特 別 講 演

●特別講演会場 9:50～11:20

テーマ 「AI 時代における看護の挑戦

—技術を活かし、人を支える専門職として—

講 師 千葉大学 名誉教授
千葉大学大学院看護学研究院 特任教授

正木 治恵 氏

○講演概要

AI (Artificial Intelligence: 人工知能) は看護の現場をどう変えるのか。期待と不安が入り混じるなか、少子高齢化で人手不足が続く看護の現場は、その答えを迫られている。AI の活用はすでに「使うかどうか」ではなく「どう使うか」を考える段階にあり、看護記録の作成支援や転倒・転落の予測など、効果を示す報告が国内外で増えつつある。一方で、もっともらしい誤った情報を作り出すこと(ハルシネーション)や、責任の所在のあいまいさ、頼りすぎて看護師の力が衰える心配など、見過ごせない課題も浮かび上がっている。AI は看護に何をもたらし、何を奪うのか。そして、AI がどれほど進化しても、看護師にしか担えないこととは何か。本講演では、「分けて予測する知性(ロゴス)」と「相手をまるごと感じ取る知性(レンマ)」という二つの知性を手がかりに、この問いに迫る。国内外の実践例や研究から見えてくるAIの可能性と限界を整理したうえで、AI時代に看護職が果たすべき役割とこれからの方向を、会場の皆さまとともに考えたい。

○講師プロフィール

正木 治恵 (まさき はるえ)

千葉大学大学院看護学研究科修了後、東京女子医科大学病院看護師を経て、千葉大学看護学部教員。東京大学にて博士(保健学)取得。1999年より文部科学省高等教育局医学教育課看護教育専門官に従事、2002年より千葉大学大学院看護学研究科教授。2024年より千葉大学副学長、2026年より現職。

『老年看護学概論(改訂第4版)「老いを生きる」を支えることとは』(南江堂、2023)等。